

学校概要



学校法人 土岐学園

専門
学校 北日本自動車大学校

名称および所在地

〒079-1371 北海道芦別市上芦別町1-1-8 番地1-3-2

学校法人 土岐学園

専門学校 北日本自動車大学校 TEL<0124>22-3811

(旧校名：北日本自動車工学専門学校) FAX<0124>23-0643

課程およびコース

- ・ 専門課程 自動車整備科 一級整備士コース
二級整備士コース
- ・ 専門課程 ボデーリペア科

校訓及び教育方針

校 訓

役に立つ人になろう

建学の精神

優秀な整備士はすぐれた人格の持ち主である

教育方針

1. 技術力
二級整備士としての実力を身につけさせる
1. 接客力
フロントマンもできる実力を身につけさせる
1. 指導力
人を指導できる能力を身につけさせる

教育基本理念

未来への展望と実行力を持ち、時代の変化に対応できる心身とも健全な整備士をめざして

1. 「教えることは学ぶことである」・・・自ら学び、自らを伸ばす意欲をもとう。
2. 「友情」・・・豊かな心と協調性を養おう。
3. 「優れた整備士は優秀な人格の持ち主である」・・・お互いに人格を尊重しあおう。

教 育 目 標

1. 重 点 目 標

1. 自ら学び、自ら伸ばす学習態度を育てよう。
2. 進んで規則を守り、責任を果たす生活習慣を育てよう。
3. お互いに人格を尊重し、思いやりのある心を育てよう。

2. 経 営 方 針

1. 学校教育目標及び学校課題から設定した重点目標の理念について、全教職員が理解を深め協働体制の充実に努める。
2. 校内研修活動を一層すすめ、教育実践の効果を高める。
3. 規律ある学校生活の推進と安全指導の徹底をはかる。

3. 教育課程編成の方針

1. 学校教育目標，学校，学科の特質をふまえ，知・徳・体・情・意の調和のとれた全人教育をめざして編成する。
2. 学生（生徒）の能力，評価を適切に行い，一層の改善につとめる。

学 校 課 題

1. 挨拶（G：Greeting）正しい言葉遣いを身につけさせる。
2. 身形（A：Appearance）服装・頭髪など身形をよくする。
3. 時間（T：Time）遅刻・早退・欠席の絶無を期する。

指導上の重点事項

学習指導	<ol style="list-style-type: none">1. 基本的知識，技術を確実に身につける学習指導の研究，実践につとめる。2. 授業の準備と学習のしつけを徹底し予習，復習の習慣化につとめる。3. 形成的評価を適切に行い，授業の改善につとめる。4. 定期試験の結果を総合評価と自己評価に反映させる。
学生（生徒）指導	<ol style="list-style-type: none">1. 父母，地域社会との連携を密にして，基本的生活習慣の確立，礼節を重んじる態度の育成につとめる。2. 学則の遵守，交通安全指導を徹底すると共に，自主的，自立的に社会のルールを身に付ける指導をする。3. ホーム・ルーム指導を充実，強化すると共に，全教職員の意識統一，連携指導のもと，学生（生徒）理解と個別指導の推進につとめる。4. 寮生については，親身になって相談に当たるとともに親への連絡を密にする。
進路指導	<ol style="list-style-type: none">1. ホーム・ルーム担任を中核とし，計画的，継続的指導の推進をはかる。2. すべての教育活動をとおして正しい勤労観，職業観の育成につとめ，健全な社会生活への適応をはかる。3. 入学時からの進路意識の高揚，自己理解と将来にわたっての目標意識の育成を図る。4. 高等課程の生徒は，専門課程への進学を勧め，上級資格の取得を志す。
就職指導	<ol style="list-style-type: none">1. 入学の目的である重要な就職活動に各自が積極的に行動するよう指導する。2. 日頃の成果が就職に結びつくことを教え，欠席や遅刻のないように指導する。3. 学生（生徒）からは，求職票に記載させる共に，ヒアリングを行い本人の希望を取り入れる。4. 求人票の出た企業を学生（生徒）に紹介し，必要に応じて個別指導を行う。
安全・健康指導	<ol style="list-style-type: none">1. 全ての教育活動をとおして，心身の健康管理，体力増進，安全保持の態度習慣を育成する。2. 交通安全教育を一層増進し，自他の生命の尊重，安全行動への能力，態度を育成する。3. 自らを鍛える意識を理解させ，健全なスポーツ活動への積極的参加を図る。

実 習 五 訓

- 一 与えられた作業に専念出来ない者に技術の向上はあり得ない。
どんなことでもつまらぬ作業と思うな、
そのつまらぬと思うことが集積して高度な技術となる。
- 一 服装は人柄を表わす。
作業中は必ず作業服、作業帽、作業靴を着用し軽快に動け。
- 一 怪我は心のゆるみから生まれる。
作業は常に心をひきしめ自身は勿論のこと
他人にも怪我をさせないよう注意せよ。
- 一 整備士と工具の関係は武士の刀と同じである。
工具の管理の出来ない者、正しく工具を使えない者には
整備士の資格はないものと銘記せよ。
- 一 作業場の清掃整備は作業の基本である。
作業終了後の清掃・整備が出来ない者に高価な部品の
整理の出来るはずがない。

この実習五訓は、先代理事長、齋木行夫先生が昭和 39 年学園を創設されるとき、自ら得た経験と自ら学んだ豊富な知識の中から生まれたものです。

実習に取り組む姿勢は、どんな作業であっても真面目であり真剣でなければならないこと。服装は整備士にふさわしいものであり作業性のよいものを着用しかつ、清潔でなければならないこと。危険な作業に関わることも多い、常に心を引き締めて作業すること。整備士にとって大切な工具類は大切に扱うこと。作業を行う環境をよくすること。などを五訓にまとめられたものです。

我々はこの意思を受け継いでより一層の実践を心がけていかなければならない。実習の開始時にはこの実習五訓を全員で唱和し、気を引き締めて作業に当たって欲しいと思います。

校務分掌一覽

